

「健康長寿のまち・京都市民会議」の正式発足及び京都市健康大使の就任について
～これを記念したイベントを6月4日（土）に開催します！！～

1 「健康長寿のまち・京都市民会議」の正式発足について

市民ぐるみで健康づくりを推進する運動組織「健康長寿のまち・京都市民会議」が、今般、80を超える多くの団体の参画を得て、5月9日（月）の設立総会で、正式に発足する運びとなりました。

2 京都市健康大使の就任について

京都市として、新たに京都市健康大使を設け、京都市の健康づくりの取組を広くPRしていくこととしました。この京都市健康大使には、あらゆる世代の方々に働きかけていくため、子ども・青少年期の代表として子役タレントの本田紗来ちゃん^{*}、働く世代の代表としてオリンピックメダリストの朝原宣治氏・奥野史子氏夫妻、高齢期の代表として裏千家前家元の千玄室大宗匠と、105歳の現役陸上選手の宮崎秀吉氏に、それぞれ御就任いただくこととなりました。

※本田紗来ちゃんの姉は、フィギュアスケートの本田真凜選手、子役タレントの本田望結ちゃん

3 「健康長寿のまち・京都市民会議」正式発足記念イベントの開催について

京都市健康大使の就任式や来場者参加型の健康づくりイベントをはじめとする「健康長寿のまち・京都市民会議」正式発足記念イベントを、6月4日（土）に開催しますので、御報告します。



「健康長寿のまち・京都」キックオフイベント（昨年11月29日）

1 「健康長寿のまち・京都市民会議」の正式発足について

(1) 概要

- ・ 京都市民の健康寿命の延伸に向けた取組に賛同いただいた72の団体・関係機関等の参画により、昨年11月に「健康長寿のまち・京都市民会議」（準備会）が設立。
- ・ 取組の目標としてのキャッチコピーやロゴマークを応募作品（キャッチコピー2,124件、ロゴマーク397件）の中から選定する等、正式発足に向けた取組を推進。
- ・ 今般、更なる賛同団体の参画を得て設立総会を開催し、正式発足。

(2) 設立総会の開催

ア 日 時：5月9日（月）午後3時～午後4時

イ 場 所：からすま京都ホテル 「双舞の間」

ウ 内 容：設立に係る規約等の決定、役員選出、キャッチコピー及びロゴマークの決定、今後の取組方針の確認、京都市健康大使の紹介等

(3) 組織構成

市民会議の活動方針等の意思決定に参画する「会員団体」（本日時点で84団体）と、意思決定には参画しないが、「健康長寿のまち・京都」の実現の趣旨に賛同し、関連した活動に取り組む民間企業や大学等の「協賛団体」により構成。

※「会員団体」は別添資料のとおり。京都市保健福祉局保健医療課に事務局を設置。

(4) 活動内容等

ア 「健康長寿のまち・京都」の実現に向けた理念や取組の普及啓発

イ 各構成団体における健康づくりの推進

ウ 構成団体の相互交流・連携による、各ライフステージ（子ども・青少年期、働く世代、高齢期）や、各分野（食生活、運動等）ごとの健康づくりの推進

エ 健康づくりの機運の醸成や多様な健康づくりの機会の創出等の企画・検討等

2 京都市健康大使の就任について

京都市の健康づくり施策に関する「イメージキャラクター」として、イベントへの参加や様々な広報媒体への出演等を通して、あらゆる世代の方々への健康づくりの活動を呼びかけていただくため、新たに京都市健康大使を設ける。今般、次の各世代層の方々を任命。

【子ども・青少年期の代表】

◎本田紗来（ほんだ さら）ちゃん（9歳）

姉の本田真凜ちゃん・望結ちゃんとともに、フィギュアスケートを通じた健康づくりや、学業とタレント業の両立のため、「早寝早起き・朝ご飯」など、規則正しい生活を実践。

<プロフィール>

平成19年4月京都市生まれ。CM等で活躍中の子役タレント。昨年の京都府民総合体育大会スケート競技会で2級・幼年女子優勝。



【働く世代の代表】

◎朝原宣治（あさはら のぶはる）さん（43歳）

◎奥野史子（おくの ふみこ）さん（44歳）夫妻

夫婦ともにオリンピックメダリストであり、現在も3人のお子さんとともに、家族ぐるみでスポーツや食生活を通じた健康づくりを実践。

また、朝原さんは奥野さんの子育てと仕事の両立のために積極的に家事や育児を手伝い、「真のワークライフバランス」を実践。

<プロフィール>

（朝原宣治さん）

昭和47年6月神戸市生まれ。2008年北京オリンピック400mリレー銅メダリスト。現在は陸上競技指導者・スポーツ解説者として活躍。大阪ガス所属。

（奥野史子さん）

昭和47年4月京都市生まれ。バルセロナ五輪シンクロナイズドスイミング銅メダリスト。現在はスポーツコメンテーターとして、テレビ、ラジオ等に出演。京都市教育委員。



【高齢期の代表】

◎千玄室（せん げんしつ）大宗匠（93歳）

「一盃からピースフルネスを」の理念を提唱し、国際的な視野で茶道文化の浸透と世界平和を願い、各国を歴訪。現在も、ユネスコ親善大使等の公職を多数務め、国内外で精力的に活躍。

<プロフィール>

大正12年4月京都市生まれ。茶道裏千家第15代・前家元。ユネスコ親善大使、日本・国連親善大使、日本国観光親善大使等。文化功労者国家顕彰、文化勲章、仏レジオン・ドヌール勲章オフィシエ等、国内外多数受章。京都市名誉市民。



【高齢期の代表】

◎宮崎秀吉（みやざき ひできち）さん（105歳）

105歳にして100メートルを完走し、「世界最高齢のスプリンター」としてギネス世界記録に認定された、まさに京都が世界に誇る「超」健康長寿の達成者。

<プロフィール>

明治43年9月静岡県浜松市生まれ。スポーツとは長年無縁であったが、92歳のときに陸上競技を開始。昨年9月、「京都マスターズ」で100mを42秒22で完走し、ギネス世界記録に認定。



※ 今後、さらに各年齢層や各界から「京都市健康大使」に就任いただきます。

3 「健康長寿のまち・京都市民会議」正式発足記念イベントの開催について

(1) 日時・場所

ア 日 時：6月4日（土）午後1時～3時

イ 場 所：K B S 京都ホール（収容人数約700人）

(2) プログラム

ア 市長あいさつ

イ 「健康長寿のまち・京都市民会議」代表あいさつ

ウ 「健康長寿のまち・京都市民会議」設立趣旨等説明

エ 京都市健康大使の就任式

オ キャッチコピー、ロゴマークの最優秀作品及び優秀作品受賞者への表彰

カ 市長と京都市健康大使のトークセッション

キ 来場者参加型の健康イベント

・「京ことば」ラジオ体操

・健康クイズ など

※一部変更となる場合あり。

(3) 申込み・問い合わせ等

入場無料。事前申込み不要。先着順。

<問い合わせ先>

「健康長寿のまち・京都市民会議」事務局

京都市保健福祉局保健衛生推進室保健医療課内

（電話 075-222-3411 F A X 075-222-3416）

(参考) これまでの取組について

(1) 「健康長寿のまち・京都推進本部」の設置（平成27年6月）

「歩くまち」、「スポーツ」、「ボランティア活動」など、「健康づくり」をキーワードに、様々な関係施策を徹底的に融合し、全庁を挙げて健康寿命の延伸に向けた取組を推進する組織として、「健康長寿のまち・京都推進本部」を設置。

- ・イベント等の共同開催，新たな融合策や効果的な普及啓発の検討
- ・「若手職員検討チーム」による，既成の枠にとらわれない斬新な事業アイデアのとりまとめ

(2) 「健康長寿のまち・京都市民会議」（準備会）の設立（平成27年11月）

「健康長寿のまち・京都」の理念に賛同する72の市民団体，関係機関等の参画を得て，行政主導ではなく，一人ひとりの主体的な健康づくりを市民運動として展開する組織として「健康長寿のまち・京都市民会議」（準備会）を設立。

- ・正式発足に向けた更なる賛同団体の参画の呼びかけや，組織体制等の検討
- ・「健康長寿のまち・京都」キックオフイベント開催への協力
- ・構成団体を通じた「健康長寿のまち・京都」の理念や取組の普及啓発

(3) 「健康長寿のまち・京都」の実現に向けた目標（キャッチコピー）及びロゴマークの公募（平成28年2月～3月）

「健康長寿のまち・京都」の実現に向けて，年齢にかかわらず全ての市民の方々から共感が得られる分かりやすい目標（キャッチコピー）や，取組をイメージ化したロゴマークを広く全国から公募。

- ・キャッチコピー2,124件，ロゴマーク397件もの応募
- ・デザイン等に関する専門家の意見も得ながら，「健康長寿のまち・京都市民会議」において選定